

前期学校評価の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に格別のご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

生徒がよりよい学校生活を送ることができるように、学校では毎年2回、学校の取組について評価し、改善を図るための「学校評価」を行っています。生徒アンケート、教職員アンケート、保護者の皆様にもご協力いただいたアンケート結果をもとに、今後の対策を考え、取り組んでいきます。7月に行った後期学校評価について報告いたしますとともに、後期へ向けて改善につなげていきます。

生徒一人一人が、充実した学校生活を送れるよう教職員一同努めて参りますので、今後ともご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

() の数字は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合 (%)
(令和四年度前期→令和四年度後期→令和五年度前期) の推移を表している。

1. 学習について

(1) わかりやすい授業

生徒「授業がわかりやすい」 (90 → 87 → 83)

(2) 活用力の向上

生徒「学んだことを自分の生き方や考え方、社会生活の中で活かそうとしている」
(78 → 81 → 72)

(3) 読書活動の充実

生徒「朝読書に真剣に取り組んでいる」 (84 → 81 → 81)

保護者「お子さまと、読書に関わることについて話すことがある」 (45 → 47 → 34)

(4) 学習規律の徹底

生徒「チャイムスタートを意識して行動している」 (92 → 89 → 85)

生徒「授業の始めと終わりの挨拶をしっかりしている」 (90 → 86 → 80)

生徒「授業では正しい姿勢で授業を受けている」 (70 → 72 → 59)

(5) 家庭学習の充実

保護者「お子さまには、家庭学習の習慣がついている」 (64 → 69 → 61)

<今後の改善策>

■ わかりやすい授業・キャリア教育の充実

「授業が分かりやすい」という質問項目への肯定的な回答は、減少傾向にあります。引き続き、ICT 機器を有効に活用し、どの生徒に対しても分かりやすいと思える授業を実践できるよう努力してまいります。

また、授業規律の徹底や家庭学習の充実関係がすべての項目において減少しております。授業規律をもう一度見直し、徹底することで生活にもメリハリが付き、集中力も増していくものと考えます。また、家庭学習の重要性も生徒に問いかけ学習効率の向上を目指します。

2. 生活について

(1)規則正しい生活

生 徒「起床、就寝時間を決めて生活している」	(65 → 63 → 70)
保護者「お子さまは、起床時間や就寝時間など、規則正しい生活を送っている」	(69 → 64 → 71)
生 徒「SNS の時間を使用時間決めて守っている」	(51 → 49 → 48)
保護者「お子さまは、SNS の時間を決めて守っている」	(52 → 48 → 43)

(2)あいさつ

生 徒「気持ちの伝わるあいさつを自分からしている」	(77 → 83 → 83)
保護者「鶴中生は、学校や地域で自分から気持ちの伝わるあいさつしている」	(84 → 81 → 80)

(3)道徳教育の充実

生 徒「友達に対して、思いやりの心で行動している」	(95 → 93 → 90)
保護者「お子さまは、友達に対して、思いやりの心を持っている」	(96 → 97 → 97)

(4)生徒指導・教育相談の充実

生 徒「学校ではいじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごすことができる」	(97 → 96 → 95)
保護者「お子さまは、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている」	(92 → 92 → 90)
生 徒「先生は、自分の良いところや頑張ったことを褒めてくれたり認めてくれたりする」	(89 → 91 → 92)
保護者「お子さまは、学校で良いところや頑張ったことを褒められたり、認められたりしている」	(88 → 91 → 84)

<今後の改善策>

規則正しい生活については、昨年度よりも向上しており、大変良い傾向であると感じます。引き続き、ご協力をお願いいたします。「安心安全に過ごす」点ではわずかながら減少しています。生活アンケートや QU アンケートの結果にも注意を払い日々の生活で自己肯定感が高まるような声掛けや、生徒に寄り添う姿勢で少しでも不安要素を取り除く体制を整え、全員が安心して過ごせる学校をめざしていきます。

「SNS の使い方」についてですが回数を重ねると減少しており、大きな問題としてとらえております。学校でも、5月に外部講師を招き、スマホ教室をオンラインで開催したりなど注意喚起を行っていますが、現状はよろしくありません。SNS による睡眠時間、勉強時間の減少が問題となっております。また、トラブルに巻き込まれる可能性も依然として高い状況であります。学校でも引き続き、いろいろな方向から注意喚起を行っていきませんが、保護者の皆様方には学校による注意喚起や外部機関との連携を高めていく試みへのご理解・ご協力をお願いいたします。

3. 生徒会活動などについて

(1)特別活動の充実

生 徒「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加（協力）している」	(74 → 73 → 70)
---------------------------------	----------------

教職員「生徒は、主体的に学校行事に取り組んでいる」	(90 → 86 → 90)
---------------------------	----------------

(2)部活動の充実

生 徒「部活動では、目標を持って意欲的に取り組んでいる」	(88 → 88 → 91)
------------------------------	----------------

保護者「お子さんは、部活動に積極的に参加している」	(87 → 91 → 91)
---------------------------	----------------

<今後の改善策>

■生徒会活動の充実

職員のアンケートは前年と同じ高い数値を保っていますが生徒のアンケートでは数値が下がっています。これは、委員会活動やボランティア活動などが数値に結びついていないものと考えられます。生徒による自主的な活動を支援していきます。また、後期には運動会、文化祭と大きな行事が続くので生徒会委員会を中心に積極的に取り組み、参加していくことで充実感を得られるように後押ししていきたいと考えています。

部活動に関しては全員参加という原則はなくなりましたが、目標を持ち、意欲的に参加する生徒の割合は増加しています。日々の活動の取り組みが、単に大会等の成績だけでなく学校生活全般の活躍につながるよう職員が連携して指導してまいります。

4. 学校関係者評価委員会・学校評議員会より

P T A代表、地域代表の方による学校関係者評価委員会、及び学校評議員会を10月に開催し、前期学校評価に関する分析、今後の改善策等についてご意見をいただきました。

○相談員や支援員の人数はどのような状況か。また、その状態で間に合っているか。

→本校では相談員1名。支援員1名が所属し教育活動にあたっています。特別支援教室だけでなく数多くのクラスにサポートに入っていただいています。また、相談員は主に学習室にいて、悩みを抱えている生徒の話の聞いたり、会話の中でアドバイスをしたりしています。様々なケースに対応してくださっているため十分であるとはいえません。

○携帯は学校に持ってきていいのか。

→県の条例では携帯電話を所持してもよいと改定されています。その中で家庭や、学校のルールを守ることとなっております。本校では携帯電話を持つことは禁止となっております。

※今回も地域や保護者の皆様と協力して子どもたちを育てていくことがとても大切であると改めて感じました。いただきました貴重なご質問やご意見を今後の学校教育に生かして参ります。誠にありがとうございました。